



## 新年あけましておめでとうございます。

病院はわずか4日間の正月休みでしたが、皆さんはどのように過ごされたでしょうか。

休み中の勤務にあたった職員の皆さん有難うございました。慈恵会グループのその他の施設も、休日の医療と介護の提供に苦勞されたと思います。ご苦勞様でした。

神戸校も松江校も、2月から始まる国家試験対策のため、学生も教員も休みどころではなかったようです。あと1月あまり、国試全員合格を目指して頑張ってください。

## コロナのこと

コロナパンデミックから3年目を迎えます。デルタの次はオミクロンと、敵もさるもの引っ掻くもの、手を変え品を変え姿を変えて、攻撃の手を緩めず人類に襲い掛かってきます。

オミクロンはアメリカで一日40万人、フランスでは20万人と猛威をふるっています。日本では徐々に広まりつつあるものの、まだ一日1000人前後で、何とか小康を保っているといえます。コロナに関しては、油断することなく、感染防御に努めましょう。

## 阪神淡路大震災のこと

コロナでだいぶん影が薄くなり、年月も経ったことで記憶から遠ざかりつつあるのが阪神淡路大震災です。1995年1月17日に淡路の北淡町を震源地とするM7.6の大地震が起こりました。今年で27年目を迎えます。午前5時46分ドッカーンという音とともに、布団から跳ね飛ばされた衝撃は今でも覚えています。

病院のある若宮商店街や病院周囲の建物のほとんどが全壊でした。旧病院外来棟(現 新須磨透析クリニック)には250人の負傷者が押しよせ、うち22人が亡くなられ、地下一階(旧MR室)をご遺体の安置室にしました。

若宮商店街がほぼ全壊となり、商店街の皆さんが、現在職員用駐車場となっています立体駐車場の2階に永らく住んでおられました。

この地震が、慈恵会にとってそれまでの最大の危機で、何とか踏ん張り、危機を乗り越えてきたのです。

## 危機の再来

もしばらくはこのようなことはないであろうと高を括っていたところにこのパンデミックです。

よもやパンデミックがここまで大きな影響を及ぼすとは思いませんでした。地震でそれなりのリスクマネジメントを学んだつもりでしたが、コロナ対応は様子が異なりました。

地震は見える災害で極端にいうと一回こっきりであり、コロナは姿が見えずどこかに潜んでいて延々と続きます。当初は見えないものへの恐怖があったのは確かです。それでも、色々な知見が蓄積され、ワクチンや治療薬が開発されてからはだいぶん落ち着いて対応ができるようになってきました。

## コロナ後

いずれコロナは収束します。そのあかつきには、ポストコロナの医療体制の構築と、少子高齢化による医療・介護・教育への対応が大きな課題となります。この危機を乗り越え、新須磨病院を中心とした慈恵会グループの経営基盤を盤石のものにしたいと考えています。

## ◆ 若宮神社にお参りしてください

病院南に若宮神社があります。小さいながらも、恵比寿さん、毘沙門さん、白龍さん、お稲荷さんを祀っており、この地域の鎮守様です。私が総代を務めています。初詣にはぜひお参りして、御札(500円)をお買い求めください。満願成就まちがいありません。1月1日は元旦祭をおこないました。1月9日は午前11時から恵比寿祭をおこないます。



## ◆ 今週の院長予定

1月3日	月	休日							
1月4日	火	8:00運営会議、9:00外来、14:00手術							
1月5日	水	松江							
1月6日	木	9:00~11:00来客							
1月7日	金	9:00外来、14:00、16:00コロナ対策会議、17:00経営改善会議							
1月8日	土	11:30松江総合医療専門学校リモート挨拶、14:00介護の家訪問診療							